

安全な注射処置の実施は追加的な事項ではありません。

安全な注射処置は、全ての注射剤投与時における基本的実施要件です。信じがたいことに、米国では過去10年以内にも注射器の再使用や注射剤のバイアルの再使用が行われてきました。

これにより、何十人にも及ぶ感染症のアウトブレイクに関係した患者さんが発生しています。

さらにB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、HIV等の血液媒介性ウイルスに関する検査の対象患者さんが10万人以上にのぼっています。

安全な注射処置は全ての医療従事者の責務です



安全な注射処置の実務に関する連携

“安全な注射処置の実務に関する連携 (Safe Injection Practices Coalition, SIPC)” は、全米の医療環境に安全な注射処置に関する啓発を推進する目的で、疾病制御予防センター (CDC) と医療関連団体のパートナーシップにより構成されています。

SIPC では安全な注射処置を推進するためのキャンペーンを開始しました。その目的は、公衆衛生的な教育的側面とキャンペーン自身の存在を認知して戴くことにあります。つまり、医療従事者と患者さんの両者に安全な注射処置の推進と働きかけ役を担って戴こうとするものです。

以下にSIPCの構成メンバーを示します：

- Accreditation Association for Ambulatory Health Care (AAAHC)
- American Association of Nurse Anesthetists (AANA)
- Ambulatory Surgery Foundation
- Association for Professionals in Infection Control and Epidemiology, Inc (APIC)
- BD (Becton, Dickinson and Company)
- Centers for Disease Control and Prevention (CDC)
- CDC Foundation
- Covidien
- HONOReform Foundation
- Hospira
- National Association of County & City Health Officials (NACCHO)
- Nebraska Medical Association (NMA)
- Nevada State Medical Association (NSMA)
- Premier healthcare alliance
- US Food and Drug Administration – Safe Use Initiative (Advisor)

SIPCに関する追加情報やビデオ他の資料を閲覧するには以下URLをご覧ください：

www.OneandOnlycampaign.org

日本語版訳：公立大学法人 横浜国立大学附属病院感染制御部 部長 満田年宏
※安全な注射処置に関する情報は職業感染制御研究会HP(<http://jrigoicp.umin.ac.jp/>)から入手可能です。



注射処置に関わる安全

すべての医療従事者が熟知しておくべき事項



安全な注射処置に関する CDCガイドライン

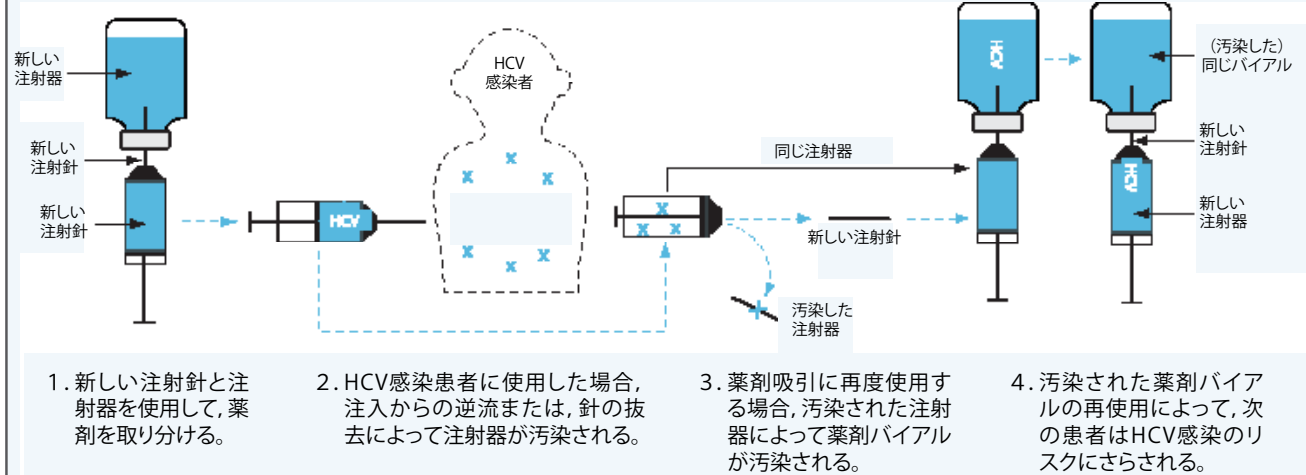
- (たとえ注射針を交換したとしても) 1人以上の患者さんに、同じ注射器を再使用して注射薬剤の投与しないこと。
- 注射器か注射針を静脈ラインからの注射薬剤投与に使用した場合、他の患者さんあるいは薬剤バイアルの採取に同じ注射器を再使用しないこと。
- 使用済みの注射器あるいは注射針を、再度バイアルにアクセスするのに使用しないこと。
- 単回使用量包装単位のバイアルを、1人以上の患者さんに絶対使用しないこと。
- 多用量(マルチドーズ)バイアル包装の注射薬剤は可能な限り1人の患者さん専用として使用すること。
- 静脈投与する輸液薬剤のバッグ製剤やボトル製剤を、1人以上の患者さんで共通の薬剤として使用しないこと。
- その後の注射薬剤の混合調製や静脈投与について、その他の適切な感染予防策を実施すること。
- カテーテル挿入時や脊柱管や硬膜下腔に薬物を投与する時は、サージカルマスクを装着すること。



引用元: 医療環境における感染性病原体伝播予防・隔離予防策のためのCDCガイドライン2007
 Guideline for isolation precautions: preventing transmission of infectious agents in health care settings 2007.
 Atlanta, GA: US Department of Health and Human Services, CDC; 2007.
 Available at: <http://www.cdc.gov/hicpac/pdf/isolation/isolation2007.pdf>

安全でない注射処置による感染症の伝播

注射器の再使用によりC型肝炎ウイルス(HCV)などが伝播する可能性があります。
 こうした事態が発生するのを防ぐため、注射器を複数の患者間で共用しないようにしましょう。



MMWR, 2008年5月6日57(19);513-517を改変

全ての医療従事者が安全な注射処置について知っておくべき3項目

1. 注射針と注射器は単回使用の診療器材(シングルユースデバイス)です。注射針と注射器を複数の患者間で共用して使用したり、追加の注射薬剤を取り分けるのに再使用してはいけません。
2. 注射薬剤を元は単一の単回使用量(シングルドーズ)バイアルや静脈輸液バッグ製剤から取り分けて複数の患者さんに投与してはいけません。
3. 多用量(マルチドーズ)バイアルの使用は可能な限り控え、もし使用する場合でも可能な限り1人の患者さん専用で使用しましょう。

引用元: 米国疾病制御予防センター(CDC).
http://www.cdc.gov/injectionsafety/provider_fags.html

ご確認ください:

1本の注射針は、
 1本の注射器で、
 1度だけの使用を。

個々の医療従事者はどうしたら自分注射処置が正しく行えているのかが確認できるでしょうか?

医療従事者の皆さんは自身の病院のスタッフや同僚と連携し、注射薬剤の準備や投与に関し関係者全員が安全に処置を理解し対応できているのかについて確認することができます。

